

◎漁業に関する日本国政府とニュー・ジーランド政府との間の協定の有効  
期間の延長に関する日本国政府とニュー・ジーランド政府との間の交換  
公文

(略称) ニュー・ジーランドとの漁業協定有効期間延長取極

平成	四年	九月	三十日	ウエリントンで
平成	四年	九月	三十日	効力発生
平成	四年十二月	一日		告示

(外務省告示第六一七号)

目次

ニュー・ジーランド側書簡	.....	ページ
日本側書簡	.....	一七五七
	.....	一七五九

(漁業に関する日本国政府とニュー・ジールランド政府との間の協定の有効期間の延長に関する交換公文)

(ニュー・ジールランド側書簡)

(訳文)

書簡をもって啓上いたします。本大臣は、千九百七十八年九月一日にウェリントンで署名され、千九百八十二年五月二十六日、千九百八十四年九月二十一日、千九百八十六年九月二十三日及び千九百九十年九月二十六日に両政府の間で交換された公文によりそれぞれ千九百八十四年九月三十日、千九百八十六年九月三十日、千九百九十年九月三十日及び千九百九十二年九月三十日まで延長された漁業に関するニュー・ジールランド政府と日本国政府との間の協定に関してニュー・ジールランド政府及び日本国政府の代表者の間で最近行われた討議に言及するとともに、前記の協定が千九百九十四年九月三十日まで引き続き効力を有するものとするをニュー・ジールランド政府に代わって提案する光栄を有します。

本大臣は、更に、前記の提案が日本国政府にとって受諾し得るものであるときは、この書簡及びその旨の閣下の返簡が両政府間の合意を構成するものとするを提案する光栄を有します。

本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに閣下に向かって敬意を表します。

千九百九十二年九月三十日にウェリントンで

ニュー・ジールランドとの漁業協定有効期間延長取極

(New Zealand Note)

Wellington, September 30, 1992

Excellency,

I have the honour to refer to the recent discussions held between the representatives of the Government of New Zealand and the Government of Japan concerning the Agreement on Fisheries between the Government of New Zealand and the Government of Japan, signed at Wellington on 1 September 1978 and extended until 30 September 1984, 30 September 1986, 30 September 1990 and 30 September 1992 by the Notes exchanged on 26 May 1982, 21 September 1984, 23 September 1986 and 26 September 1990 respectively between the two Governments, and to propose on behalf of the Government of New Zealand that the said Agreement continue in force until 30 September 1994.

If the above proposal is acceptable to the Government of Japan, I have further the honour to suggest that this Note and Your Excellency's Note in reply to that effect shall constitute an agreement between the two Governments.

I avail myself of this opportunity to extend to Your Excellency the assurances of my highest consideration.

ニュー・ジールランドとの漁業協定有効期間延長取極

ニュー・ジールランド

漁業大臣 D・キッド

ニュー・ジールランド駐在

日本国特命全権大使 井口武夫閣下

一七五八

(Signed) Doug Kidd  
Minister of Fisheries  
of New Zealand

His Excellency  
Mr. Takeo Iguchi  
Ambassador Extraordinary  
and Plenipotentiary of Japan  
to New Zealand

(日本側書簡)

(訳文)

日本側書簡  
書簡をもって啓上いたします。本使は、本日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

(ニュー・ジールランド側書簡)

本使は、更に、前記の提案が日本国政府にとって受諾し得るものであることを日本国政府に代わって確認するとともに、閣下の書簡及びこの返簡が両政府間の合意を構成するものとすることに同意する光栄を有します。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに閣下に向かって敬意を表します。

千九百九十二年九月三十日にウェリントンで

ニュー・ジールランド駐在

日本国特命全權大使 井口武夫

ニュー・ジールランド

漁業大臣 D・キッド閣下

ニュー・ジールランドとの漁業協定有効期間延長取極

(Japanese Note)

Wellington, September 30, 1992

Excellency,

I have the honour to acknowledge the receipt of Your Excellency's Note of today's date, which reads as follows:

"(New Zealand Note)"

I have further the honour to confirm on behalf of the Government of Japan that the above proposal is acceptable to the Government of Japan and to agree that Your Excellency's Note and this Note in reply shall constitute an agreement between the two Governments.

I avail myself of this opportunity to extend to Your Excellency the assurances of my highest consideration.

(Signed) Takeo Iguchi  
Ambassador Extraordinary  
and Plenipotentiary of Japan  
to New Zealand

His Excellency  
Doug Kidd  
Minister of Fisheries  
of New Zealand

(参考)

この取極は、昭和五十三年九月一日に署名され、昭和五十七年五月二十六日、昭和五十九年九月二十一日、昭和六十一年九月二十三日及び平成二年九月二十六日付けの交換公文によって延長されたニュー・ジラランドとの漁業協定（昭和五十三年二月二国間条約集及び条約集二八五五号参照）の有効期間を更に延長するものである。